

2014年度 日本文化人類学会  
第6回理事会 議事録 (案)

日時：2015年2月15日(日) 14時～18時30分

会場：上智大学2号館6階 総合グローバル学部会議室 (2-603)

<出席予定者> 関根、赤堀、池田、石田、上杉、太田、春日、亀井、栗田、桑山、湖中、田中、名和、  
真島、松村、山本、和崎

<委任状提出>岡田、瀬川、岸上、窪田、慶田、松田

議題

〔承認事項〕

1. 2014年度第5回理事会議事録
2. 新入会員(5名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。

〔報告事項〕

1. 会長報告
  - ・AAAの研究大会の会期に合わせて2014年12月5日に開催されたWCAAの会議の議事録が届いたことを報告。この議事録に基づき、ウェンナー・グレンからの助成が今後無くなるため財政基盤について議論されたこと、今後の会議予定、WCAAの活動等について説明。
  - ・海外調査中に事件・事故等に巻き込まれる事例があったことを報告。調査に出る学生に各教員が注意喚起を行ったり、ガイダンスを行うなどの対応を検討していく必要があることを確認。
2. 庶務理事報告
  - ・本学会より推薦した鈴木和歌奈会員が「第5回(平成26年度)日本学術振興会育志賞」を受賞したことを報告。
  - ・第12回日本学術振興会賞の学会推薦依頼が届いたことを報告。例年通り、理事・評議員への推挙依頼を行った後、教育委員会と総務会で選考を進めることを確認。
3. 会計理事報告
  - ・学会50周年記念事業に係る会計報告について監査前の確認作業を進めていることを報告。
  - ・名誉会員候補者の推薦について、日本文化人類学会名誉会員内規(第2条1項)による該当者がいないこと、内規(第2条3項)による候補者の推薦があれば3月末日まで提案を受け付けることを確認。
4. 総務理事報告
  - ・来年度の人類学関連学会協議会の合同シンポジウム担当学会は日本民俗学会であること、日程やテーマ、シンポジストの推薦については今後正式な連絡が届く予定であることを報告。
  - ・WCAAのメーリングリストでAJEC(*Anthropological Journal of European Cultures*)からCall for Paperが届いたことを報告。
5. 広報理事報告
  - ・AJECからのCall for Paperの広報に関連し、JASCA-INFOではこれまで同種の配信は行っていなかったが、12月に2件、WCAA、IUAES関連の情報を配信していること、このような特例のJASCA-INFO配信にあたっては会長決裁とし、会長名で配信を行ったことを報告。今後同種の情報配信が可能となるよう運用内規の改定を提案する予定であることを報告。
  - ・前回の理事会で承認された1件、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき7件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
6. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：79巻4号の進捗状況について報告。
  - ・JRCA編集委員会：Vol.15の進捗状況について報告。
  - ・法人化検討委員会：1月に開催した委員会において、法人化に伴うメリット・デメリットに関する調査・情報収集に基づき検討を行った結果、委員会としては法人化を進めた方が良いとの結論に至ったことを報告。今後の日程としては、2015年度評議員会・総会で法人化へ向けた作業に入ることを提案し、2016年度評議員会・総会で定款の承認を受けることを想定していることが報告され、意見交換の

結果、委員会の想定よりも時間をかけて準備を行うことも視野に入れながら、評議員会・総会への提案の準備を進めることとした。

- ・地区研究懇談会：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
  - ・文化人類学教育委員会：本日若手支援検討WGの会合を持ったことを報告。学会HPに若手支援検討WGが開設したFacebookアカウントへのリンクを貼ることが提案され、リンクを貼ることが承認された。
7. その他
- ・桑山理事より、会員資格と学会誌への投稿権の関係について問題提起がなされ、今後検討を進めていくことを確認した。
  - ・真島理事より、2015年度研究大会時のラウンドテーブルに向けて「国際情報発信強化」特別委員会が2014年12月14日に開催されたこと、特別委員会での検討結果の一部が『文化人類学』79巻4号に掲載予定であること、ラウンドテーブルの登壇者や趣旨説明等については次回理事会で提案する予定であることが報告された。

### 〔審議事項〕

1. 学会賞選考委員会の委員交代について
    - ・関根会長より、日本文化人類学会学会賞選考に関し、選考委員の人選について選考規則に触れる問題が判明したため、選考委員の交代を行ったことが報告され、承認された。学会賞選考については、交代した委員が新たに選考委員会に加わり支障なく行われたことが確認された。
  2. 第10回学会賞および第10回学会奨励賞受賞候補者の推薦について
    - ・学会賞選考委員会による第10回学会賞の選考経緯と選考結果の報告に基づく審議の結果、原案のとおり承認された。授賞理由書は委員会で作成し、次回理事会で審議することとした。
    - ・奨励賞選考委員会による第10回奨励賞の選考経緯と選考結果の報告に基づく審議の結果、原案のとおり承認された。授賞理由書は委員会で作成し、次回理事会で審議することとした。
    - ・両賞の選考結果については、例年通り、JASCA-INFO及び学会HPで周知を行うこととした。
  3. J-Stage移行について
    - ・松村理事より、電子図書館事業終了後の対応について、総務会で見積等をとって検討を行った結果、紙媒体での学会誌発行は継続し、論文ダウンロードに伴う課金制については、現時点では不明な点が多くコスト計算が正確にできないため、導入を見合わせ、電子図書館に掲載済みの分に限りオープンアクセスとし、それ以外の新規発行分は時期を遅らせて公開するのが適当であるとの検討結果が報告された。
    - ・栗田理事より、現状の電子図書館の公開条件について説明があり、現行と同様の認証・課金システムを導入する場合にはシステム開発・管理運用を学会が行わなければならないこと、現時点で移行後のJ-STAGE Liteの詳細が不明であるため、2016年4月からの認証・課金システムの運用は時間的に困難であることから、電子図書館に掲載済みの分はオープンアクセスとするが、未掲載の分については状況を見つつ公開時期について検討を続けたいとの説明がなされた。
    - ・赤堀理事より、会計面から予測される支出、紙媒体の発行により得ている収入、電子図書館事業の終了に伴う収入減について説明があり、印刷会社から紙媒体を廃止した場合の見積もって見たが、大きなコスト減は見込めないため、当面は紙媒体での学会誌発行は継続し、今後も情報収集と検討を続けていきたいとの説明がなされた。
    - ・これらの報告を受け、理事会で審議した結果、①電子図書館に掲載済みの分のJ-STAGE Liteへの移行、②紙媒体の存続、③今後も情報収集を進め、経済性・効率性の良い方法について検討を続けること、の3点が承認された。
  4. 学会誌表紙デザインの変更について
    - ・田中理事より、81巻1号からの表紙デザインの変更を念頭に置き、今後の計画について、以下のよう  
な提案があった。
      - ①表紙デザインをデザイナーに委託する
      - ②アート系のデザインとする
- 審議の結果、①について承認された。②については、クラシックの要素を取り入れたアート系デザインとすることとし、学会誌の誌面や経費も含め、委員会でさらに検討を行い、次回以降の理事会で再

度提案を行うこととした。また、JRCAについても、タイトルやデザインの変更について検討していくこととした。

5. 高齢・若手会員の会費減免措置について
  - ・松村理事より、現会員の職位構成について説明があり、現状に合わせた新しい会費制度を導入することが提案された。審議の結果、高齢・若手会員の会費減免措置を導入すると同時に、他の会員の会費の値上げを行う方向で会費制度の見直しを進めていくことが承認された。また本件については、2015年度の評議員会・総会へ提案することを目標に、検討を続けていくことが確認された。
6. 「民族学振興会資料」の利用に関する覚書について
  - ・池田理事より、学会と神奈川大学常民文化研究所とが取り交わす「『民族学振興会資料』の利用に関する覚書」(案)と今後の覚書締結へむけた日程スケジュールが提案され、審議の結果、承認された。
7. 次世代育成セミナー委員の交替について
  - ・春日理事より、次世代育成セミナーの委員交替について提案があり、鈴木晋介会員に替わり、深川宏樹会員が委員に就任することが承認された。
8. 若手支援WG基幹校アンケート調査について
  - ・春日理事より、文化人類学者の育成に係る状況の把握のため基幹校アンケートを実施することが提案され、審議の結果、承認された。アンケートの中身については、若手支援WGでアンケートの文言調整を行い、総務会で最終確認することとした。
9. JRCA特集の募集について
  - ・桑山理事より、2015年度刊行のJRCA Vol. 16の特集の募集について、昨年度と同様、JASCA-INFOで配信することが提案され、審議の結果、配信文の文言調整の上、委員長名で配信することが承認された。
10. 電子図書館事業の契約更新について
  - ・栗田理事より、電子図書館事業の契約内容について説明があり、審議の結果、次年度も現行と同じ内容で契約を更新することが承認された。
11. 国際化・グローバル化対応委員会の設置について
  - ・関根会長より、現行の「国際情報発信強化」特別委員会の負担を減らし、JRCAの拡充に専念できるよう、国際連携委員会を吸収するかたちで、新たに国際化・グローバル化対応委員会を設置すること、国際化・グローバル化対応委員会は今後「学問のグローバル化/国際化とはなにか」を根本的に検討し、国際化・グローバル化に対する学会の自立的な対応を模索していくことが提案され、審議の結果、承認された。WCAAの学会代表delegateの人選の仕方や任期については、現行のやり方を改善する必要があるため、次回理事会で第27期に向けての提案内容を検討することとした。
12. その他
  - ・栗田理事より、海外から寄せられる情報を配信できるよう、JASCA-INFOの運用内規の改定を行うことが提案され、審議の結果、承認された。
  - ・2015年度第1回理事会は4月18日(土)、第2回理事会は5月9日(土)。

以上